

**製品名: ACOT2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06515**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACOT2 ACOT2; PTE2; PTE2A; Acyl-coenzyme A thioesterase 2; mitochondrial; Acyl-CoA thioesterase
別名	2; Acyl-coenzyme A thioester hydrolase 2a; CTE-1a; Long-chain acyl-CoA thioesterase 2; ZAP128
遺伝子 ID	10965.0
SwissProt ID	P49753
免疫原	抗血清はヒト ACOT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

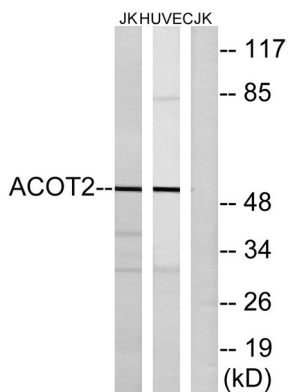
**背景**

この遺伝子は、アシル CoA チオエステラーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードし、染色体 14 上のクラスターに位置する 4 つのアシル CoA 加水分解酵素遺伝子の 1 つです。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]。触媒活性:  $\text{パルミトイル CoA} + \text{H}_2\text{O} = \text{CoA} + \text{パルミチン酸}$ 。注意: 当初 (PubMed: 10944470) はペルオキシソームであると考えられていましたが、後に (PubMed: 16940157) ミトコンドリアであることが示されました。機能: アシル CoA チオエステラーゼは、アシル CoA を遊離脂肪酸と補酵素 A (CoASH) に加水分解する反応を触媒する酵素群であり、アシル CoA、遊離脂肪酸、および CoASH の細胞内レベルを調節する可能性があります。中鎖および長鎖アシル CoA に対して高い活性を示す。類似性: C/M/P チオエステル加水分解酵素ファミリーに属する。組織特異性: 心臓、肝臓、筋肉、腎臓で最も強く発現する。胎盤および膵臓では弱い。

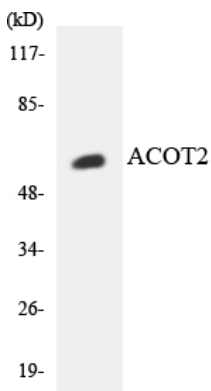
## 研究分野

不飽和脂肪酸の生合成

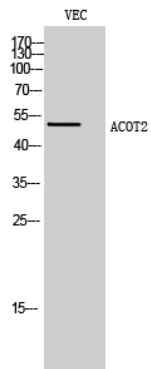
## 画像データ



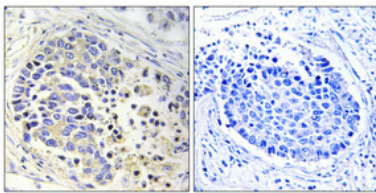
ACOT2 抗体を用いた Jurkat 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ACOT2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ACOT2 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた VEC 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。